



UPDATE!
話そう、HIV/エイズのとなりで
～検査・治療・支援～

令和元年 11月 27日
 富山県感染症情報センター
 (0766-56-5431 直通)
 (0766-56-8142 細菌部)
 (0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

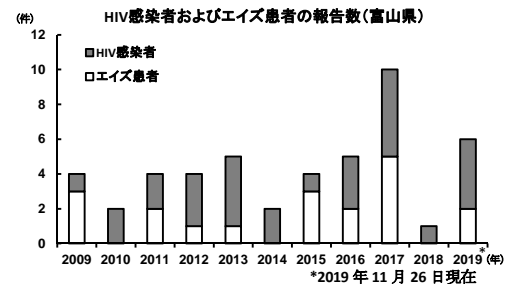
(令和元年 第47週分・11月18日～11月24日)

《 インフォメーション 》

●世界エイズデー

後天性免疫不全症候群（AIDS, エイズ）は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染することによって起こる免疫不全を伴う疾患です。エイズ発症時には様々な日和見感染症、悪性腫瘍およびHIV脳症などが認められます。通常、HIVに感染してからエイズを発症するまでの期間は数年から10年あるいはそれ以上とされています。“エイズ”の届出患者は、エイズに特徴的な症状（AIDS指標疾患）を発症していない「HIV感染者」と発症している「エイズ患者」に分けて報告されます。

全国における HIV 感染者とエイズ患者を合わせた年間新規報告数は、2013年の1590件をピークとして横ばいからやや減少傾向になっており、2018年の報告数は1317件でした。県内における過去10年間の報告数は1～10件で推移しており、今年には既に6件（HIV感染者4件、エイズ患者2件）報告されています（右図）。



近年の多剤併用療法の飛躍的な進歩により HIV 感染者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぎ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。また、治療を継続し、体内のウイルス量が減少すれば、HIV感染者から他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されています。

12月1日は、国連が提唱する世界エイズデーです。これに合わせて、県内でも保健所、厚生センターで夜間・休日等の臨時検査の実施や、街頭キャンペーンなどが行われています。HIV感染症の疫学および診療に関する情報を周知し、HIV感染者およびエイズ患者に対して適切に対処できるようにすることが重要です。

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 1件（第45週診断分：60歳代、女性）
- 四類感染症 E型肝炎 1件（60歳代、女性）
- レジオネラ症 1件（70歳代、男性、肺炎型）
- 五類感染症 急性脳炎 2件（①第46週診断分：10歳未満、男性 ②10歳未満、女性）
- 侵襲性肺炎球菌感染症 3件（①第46週診断分：60歳代、女性
②③ともに10歳未満、男性）
- 梅毒 2件（①30歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期 ②70歳代、女性、無症候）
- 百日咳 2件（①②ともに10歳代、女性）

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1位	感染性胃腸炎	5.52（↑）	4.41
2位	インフルエンザ	4.96（↑）	3.00
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.03（→）	3.03
4位	手足口病	2.03（↓）	2.14
5位	伝染性紅斑	0.83（↑）	0.79
6位	ヘルパンギーナ	0.55（↓）	0.90

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
 アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第47週 令和元年11月18日～令和元年11月24日）

分類	疾患	今週報告分（第47週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核							25	12	54	27	49	167	
三類感染症	細菌性赤痢								1			1	2	
	腸管出血性大腸菌感染症								3	7	6	14	30	
四類感染症	E型肝炎			1			1	3		3		1	7	
	A型肝炎							2					2	
	つつが虫病							1					1	
	デング熱											1	1	
	レジオネラ症			1			1	5		15	11	19	50	
五類感染症	アメーバ赤痢											4	4	
	ウイルス性肝炎									1			1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4	1	3	8	
	急性弛緩性麻痺									1			1	
	急性脳炎				1		1				1	3	4	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	3	7	13	
	後天性免疫不全症候群											6	6	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	3	2	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症			1		1	2	3		12	10	13	38	
	水痘（入院例）							1	3			5	9	
	梅毒					2	2	2	1	2	1	19	25	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	破傷風									1			1	
	百日咳				1	1	2	2	5	75	66	99	247	
	風しん								1			3	4	
	麻しん									1	2		3	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	4 0.57	14 2.80	35 2.69	21 3.00	164 10.25	238 4.96	1,455	966	3,242	1,769	4,046	11,478
RSウイルス感染症			3 1.00	2 0.25		4 0.40	9 0.31	46	83	329	127	476	1,061	
咽頭結膜熱		1 0.25		3 0.38		3 0.30	7 0.24	193	23	241	50	207	714	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2 0.50	3 1.00	30 3.75	3 0.75	50 5.00	88 3.03	127	133	785	266	1,218	2,529	
感染性胃腸炎		26 6.50	20 6.67	32 4.00	15 3.75	67 6.70	160 5.52	1,242	970	1,577	506	3,534	7,829	
水痘		1 0.25		1 0.13		7 0.70	9 0.31	21	22	51	19	271	384	
手足口病		7 1.75	9 3.00	13 1.63		30 3.00	59 2.03	252	328	1,145	292	1,602	3,619	
伝染性紅斑		1 0.25	4 1.33	8 1.00		11 1.10	24 0.83	126	87	503	127	720	1,563	
突発性発しん				3 0.38	2 0.50	3 0.30	8 0.28	36	37	209	47	184	513	
ヘルパンギーナ		2 0.50	3 1.00	9 1.13	2 0.50		16 0.55	156	132	398	132	296	1,114	
流行性耳下腺炎			1 0.33			1 0.10	2 0.07	4	8	11	1	26	50	
急性出血性結膜炎											13		13	
流行性角結膜炎								1	10	32	29	11	83	
細菌性髄膜炎						1 1.00	1 0.20			1			5	6
無菌性髄膜炎								2	1				1	4
マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 1.00	2 0.40		8	9		2	19	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）		1			2	1	4	2		2	7	6	17	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

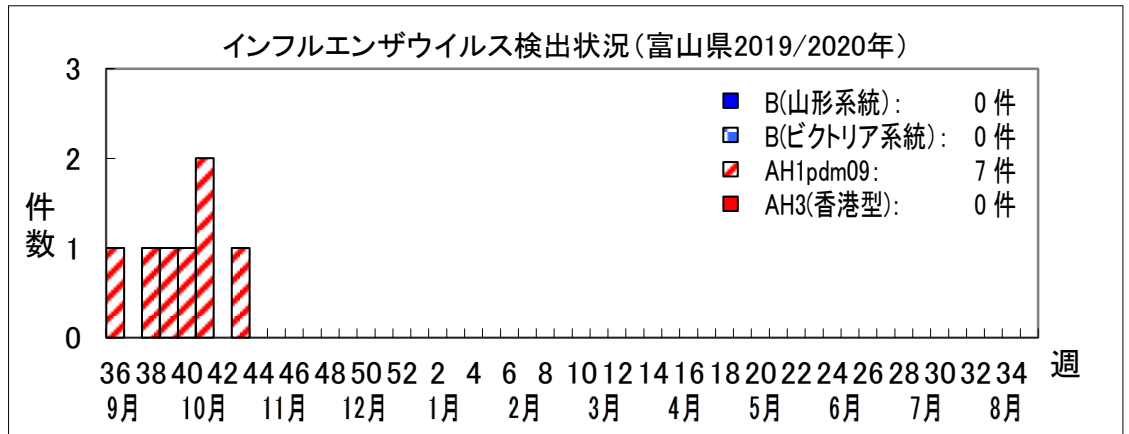
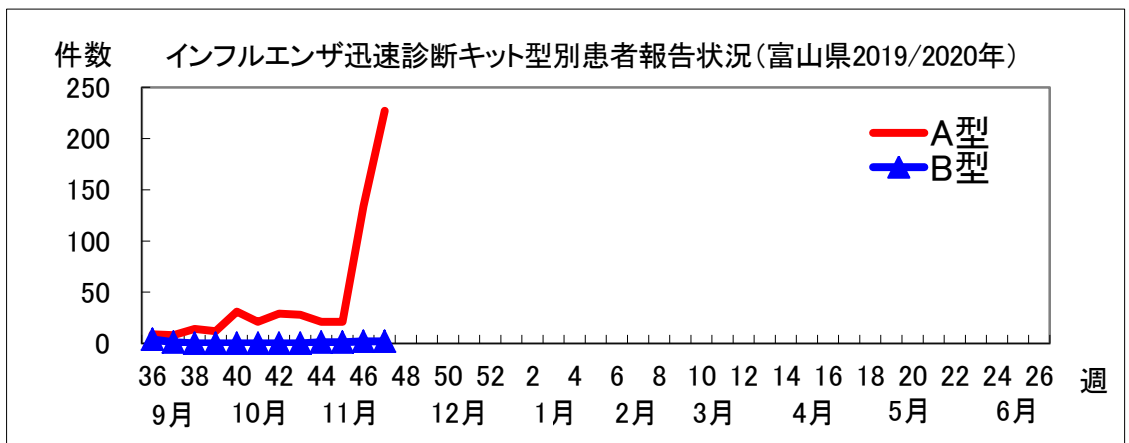
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が95.4%となっています。

第47週(11/18~11/24)：富山県 4.96人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	2 / 7	4	0	0	4
中部	3 / 5	14	0	0	14
高岡	9 / 13	34	0	1	35
砺波	6 / 7	20	1	0	21
富山市	12 / 16	155	1	8	164
富山県	32 / 48 ^{※1}	227	2	9	238
富山県累計(2019年36週~)		555	11	28	594

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が32か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



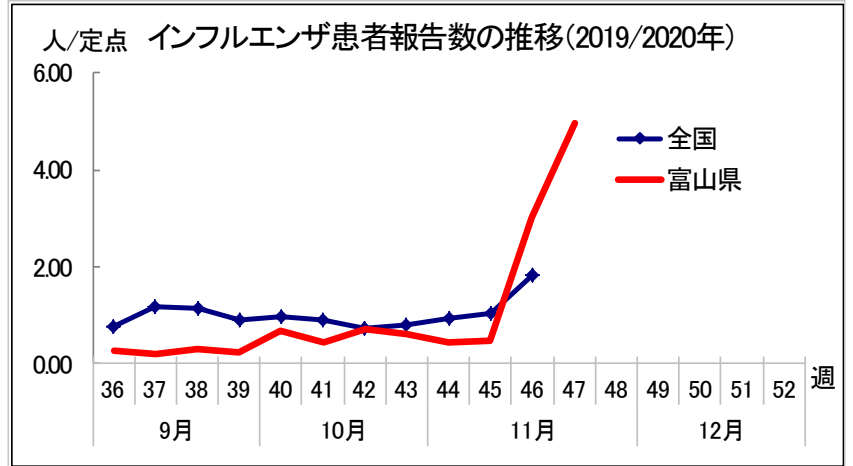


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 47 週 (11/18~11/24) : 富山県 4.96 人/定点

新川 HC (0.57)、中部 HC (2.80)、高岡 HC (2.69)、砺波 HC (3.00)、富山市 HC (10.25)

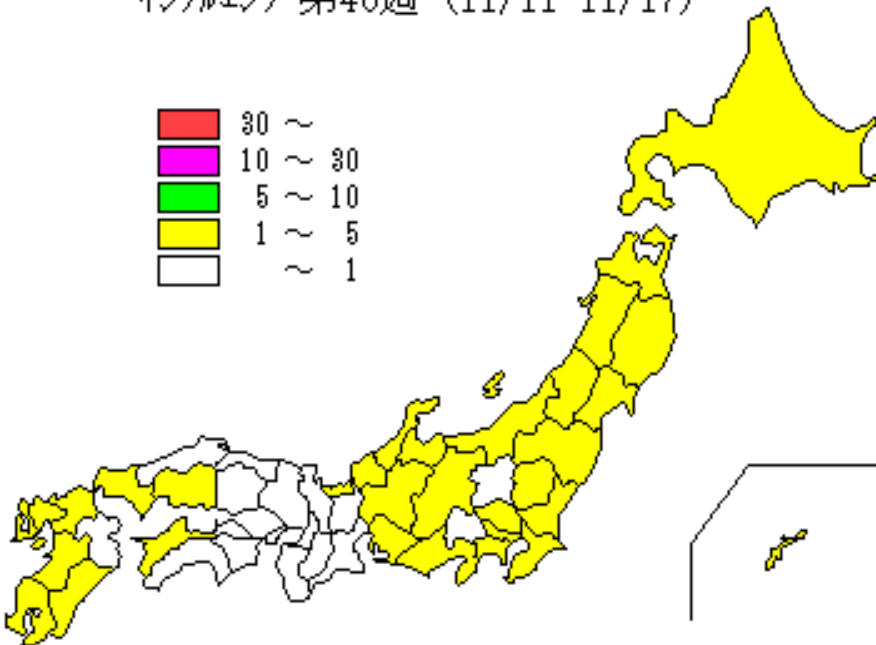
県内では第 46 週から流行期に入っており、今後しばらくは流行が継続することが予測されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 46 週 (11/11~11/17)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.84 人となり、前週の 1.03 人より増加しました。41 都道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第46週 (11/11-11/17)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	4.60	滋賀県	0.40
青森県	2.94	京都府	0.72
岩手県	1.86	大阪府	0.84
宮城県	2.16	兵庫県	0.42
秋田県	3.67	奈良県	0.87
山形県	2.37	和歌山県	0.76
福島県	2.10	鳥取県	0.07
茨城県	1.38	島根県	0.34
栃木県	1.01	岡山県	0.56
群馬県	0.90	広島県	2.89
埼玉県	1.04	山口県	1.58
千葉県	2.00	徳島県	0.62
東京都	2.01	香川県	0.38
神奈川県	2.58	愛媛県	1.03
新潟県	2.14	高知県	0.15
富山県	3.00	福岡県	3.23
石川県	3.04	佐賀県	1.36
福井県	1.54	長崎県	3.63
山梨県	0.78	熊本県	2.61
長野県	1.30	大分県	0.43
岐阜県	1.67	宮崎県	2.03
静岡県	1.14	鹿児島県	3.71
愛知県	1.92	沖縄県	2.57
三重県	0.33	全国	1.84